



## 2017年度トレーナー検定試験 試験結果講評

2018年3月8日

特定非営利活動法人 小学校英語指導者認定協議会  
トレーナー認定委員会発行

### 実技試験

Teacher talk や英語の発音は全体的にレベルが高く、指導者として効果的な発話ができることは評価できました。また、小学校外国語活動の指導経験が豊富だと思われる方が多く、児童が安心して授業にのぞめる雰囲気作りができていました。一方で、外国語活動の「導入」のねらいからそれた授業内容が目立ちました。実施要領を良く読み、実技試験で問われていることを確認してください。

授業者へのコメント・アドバイスでは、改善点を指摘しているのですが、なぜその点を改善しなければならないのか、またどのように改善したらいいのかの発展的なアドバイスがあまり見られなかったことが残念でした。

### 筆記試験

#### **領域 1**

トレーナーは豊富な実践経験とそれを裏打ちする理論を持ち合わせた存在として、英語教育の理論と実践をつなぐ役割を担います。第二言語習得 (SLA) の基本を押さえておくことで自分の実践に自信が持て、指導者としてのコメントにも説得力が出ます。第一領域の出題では SLA のすべてを網羅した知識を持つことを求めているわけではありません。

2017 年度の試験では必読書・参考文献が刷新されました。今回の出題は必読書の中でこれからポイントとなるであろう SLA の要点をきちんと読み込んでいるか、読んだ知識をもとにわかりやすくまとめ直して伝えることが出来るかを測るものでした。まずは課題図書をしっかり読むことが準備の第一歩です。



## 領域 2

今年是新学習指導要領を中心に問いました。その結果、学習指導要領で示されている概要については、具体的な数値なども含めてしっかりとおさえているなという印象を受けました。

しかし、そこまでの記述で終わっていることがほとんどだったというのも事実です。学習指導要領にこめられた意味を理解し、小学校英語が向かっている方向をきちんと表した解答に出会うことはほとんどありませんでした。

やはり、しっかりと学習指導要領を読んでいただきたいと思います。報道記事や誰かの解説などでキーワードを知るだけでは足りません。しっかりと自分の目で読み込んでこそ、小学校英語が目指すものがどういうものなのかを理解できるようになるのではないのでしょうか。

## 領域 3

設問 A は、英文の概略を読み取る部分では、良くできていました。但し、認知スキルについての全般的な知識や、日本の小学校外国語活動への応用については、正解率が低くなりました。「思考力・判断力・表現力」が意味するものは何か、子どもが言語を学ぶ際に駆使する認知方略とは何かをテキストで確認し、授業にどのように活かすかを再認識してください。

設問 B は、英文の内容から設問で示された専門用語が何かを読み取る部分は概ねできていましたが、用語を明確に定義していない回答が目立ちました。早期英語教育のアセスメントに関しては、テキストに目を通していれば答えられる設問です。今後必要となるアセスメントの知識を身に付けてください。

以上